

百里初午祭の皆様へ

2015年2月11日

百里弁護団
弁 護 士 池田 眞規

百里初午祭に参集された百里基地反対同盟の皆様、そして百里の闘いを県の内外から支援する皆様、そうして、今年も恒例の初午祭に参加された皆様に熱い連帯の挨拶を送ります。

憲法九条に基づき、「戦争のためには土地をわたさない」という確固とした目的を掲げて闘う百里の農民に連帯するために、私が百里を訪問したのは、1964年（51年前）、自由法曹団が呼びかけた百里調査団への参加でした。それから、私が翌年弁護士登録をして、待望の百里弁護団に参加したのは、1966年（49年前）でした。

それからの半世紀、私の弁護士人生の生涯を通じて百里から離れられない、誇りのある心豊かな人生を生きることになりました。

闘う百里の農民の呼びかける初午祭は、百里の闘い続けることを確認する場となりました。思えば、百里の闘いは、憲法第九条を武器として「戦争をさせない」政治を実現するという壮大な目標を目指した闘いであります。この壮大な目標を実現する決意を毎年確認する行事が百里初午祭です。

私にとって百里初午祭は、多くの懐かしい面々に年に一度会える楽しい日でもあります。

忘れられない百里の初午祭に、老化と体調の不調のために、「参加できない」という、初めての体験に「悲しい思い」に落ち込んでいます。

百里初午祭に参加の皆さん、来年の初午祭には是非お会いしましょう。